

Title	日本語・日本文化 第45号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2018, 45
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68130">https://hdl.handle.net/11094/68130</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

---

## 執筆者紹介

---

柴田 芳成 本センター准教授  
佐野 方郁 本センター准教授  
藤平 愛美 本センター特任助教

---

## 編集後記

---

『日本語・日本文化』第45号をお届けします。今号は、原稿のカテゴリー別では、研究論文2本と研究ノート1本、分野別では、日本語学・言語学系域から1本と日本文化学系域から2本を掲載することができました。

柴田論文は、藤原道長が衣替えのときに中宮彰子に送った和歌について、歌語の用例を検討し直すことによって、従来の注釈書に示されてきた解釈の誤りを指摘しています。また、佐野論文は、各宗派機関誌や地方・宗教新聞を手掛かりにしなが、従来研究者があまり注目して来なかった明治期の仏骨奉迎・奉安事業について、覚王山日蓮寺が建設されるまでの過程を再検討しています。藤平論文は、大規模コーパスから収集した用例を基に、「～をありがとう」のように非他動詞由来の挨拶表現がヲ格名詞句を取ることができることを指摘した上で、そのほかの機能のヲ格名詞句との共起関係からこの助詞ヲの機能について分析しています。

編集委員会では、引き続き、本センターの専任教員・非常勤講師の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。(M.S)

---

## 『日本語・日本文化』投稿規定

---

1. 資格：本センターまたは関係機関所属教員（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
3. 体裁：研究論文はA4用紙35字×35行20,000字以内（欧文はA4ダブルスペース30行10,000語以内）、研究ノート・研究報告は10,000字以内（欧文は5,000語以内）。
4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。

---

## 編集委員

---

岩井 茂樹 佐野 方郁 村田 真実

### 日本語・日本文化 第45号

2018年3月31日 発行

編集 大阪大学  
発行 日本語日本文化教育センター  
〒562-8558  
箕面市粟生間谷東8-1-1  
電話 (072) 730-5459  
FAX (072) 730-5074  
印刷 株式会社アイジイ